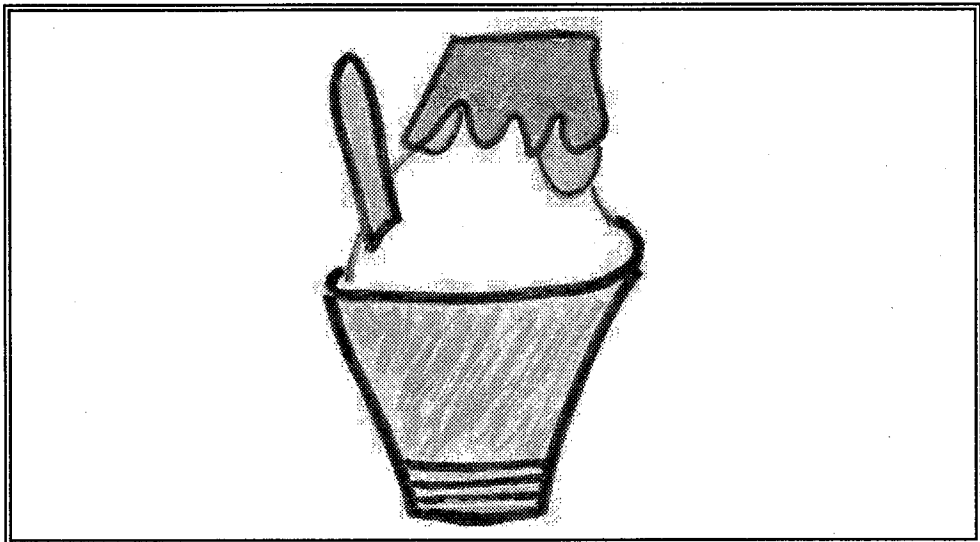


# SSTK

## じゃなかしゃば

No.241



「夏といえば、かき氷」山本江美子

～ひなたぼっこ便り～

誌名「じゃなかしゃば」は、九州水俣地方の方言で「今のようでない世の中」という意味。

私たちは障害のある人もない人も共に生きる社会をめざして活動しています。

【発行人】 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町15-9 アステール藤野1階

【編集人】 NPO法人ちばMDエコネット/理事長 堀江 清

〒273-0005 船橋市本町4-31-23 TEL/FAX 047-426-8825

Eメール: sun@mdeconet.jp

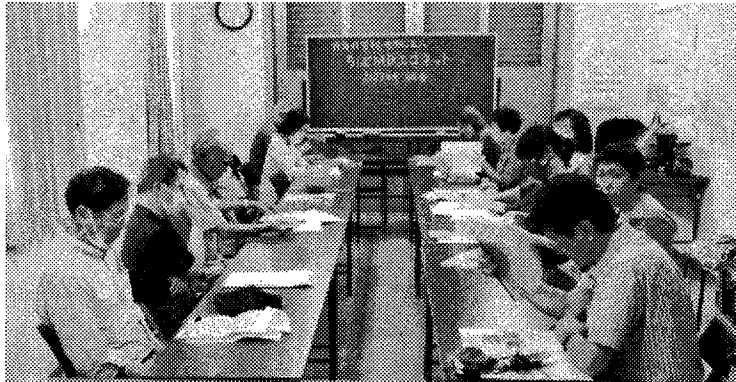
ホームページ: <http://mdeconet.jp/>

郵便振替口座: 00150-6-404243

口座名: NPO法人ちばMDエコネット

# 理事長交代、新たなスタート！

## —ちば MD エコネット 総会・役員選任のご報告—



密を避けて、カフェ向かいの本町四丁目町会会館で開催



新理事の本郷典子(カフェ店長)

6月18日(日)に、ちば MD エコネット25回目の総会を開きました。コロナ禍を経て、3年振りに会員の皆さまに集まっていただきました。終了後には交流会で近況を語り合いました。

議案審議では、2022年度事業報告・決算報告、2023年度事業計画案・予算案が異議なく承認されました。その後の役員選任では、理事として石塚和雄、内山真義、鎌田元弘、嶋村裕子、堀江清、山本佳美の6人が再任、新たにカフェひなたぼっこ店長の本郷典子が就任し、監事は高橋修が再任されました。そして、設立当初より長年にわたり理事長をつとめてきた山田晴子が退任しました。驚かれる方も多いと思います。エコネットでは、山田が元気なうちに新たな体制づくりをしようと、この数年、業務整理に取り組んできました。そして今年の総会后に交代しました。新理事長は堀江清です。皆さま、引き続きご支援をお願いします。

以下、前理事長の山田晴子と、新理事長の堀江清からご挨拶させていただきます。

## 退任のご挨拶



日頃から、ちば MD エコネットに大きなご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。1997年に設立以来、25年がたちました。私は、設立の時から理事長をつとめさせていただき、おかげさまで運営も安定してきたので、元気なうちに退任したいと理事会に希望を出しました。2年かけて準備を進め、6月18日の総会をもって退任させていただきました。

ちば MD エコネットは、「障害のある人もない人も共に学び、共に働

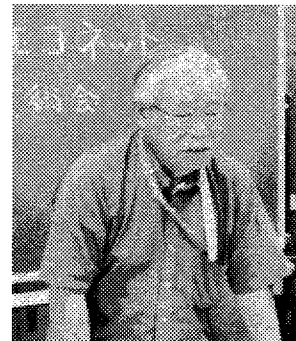
き、共に生きる地域づくり」という旗を掲げてきました。NPO法人の運営は何度もきびしい状況になりましたが、そのたびに力を貸して下さる方々が現れて、乗り越えることができました。心から感謝申し上げます。

新理事長の堀江清さんは、特例子会社運営の経験をもち、大変頼りになる方です。

どうかより一層の応援をお願いいたします。退任してからは一会員として、学校支援事業の相談員や広場清掃を続けていきます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

山田晴子

## 就任のご挨拶



この度、理事長に就任しました堀江清です。

前理事長の山田晴子さんが25年という長い期間、理事長という重責を担ってこられたことに、敬意と感謝の意を表します。特に立ち上げ当初の組織運営にあたっては苦難の連続であったと推測します。

私とちばMDエコネットとの出会いは、現役を退職した時、地元船橋で障害をもった人たちとなんらかの関わりをもちたいと思っていました。たまたま私の後輩がカフェひなたぼっこでイベントを開催することを知り、参加したのが始まりでした。自宅から徒歩で20分、健康のことを考えると最適の場所にありました。当時、山田晴子さんをはじめ皆さんが快く受け入れてくれたことを思い出します。

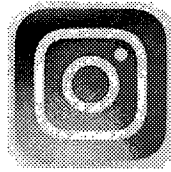
2012年に理事に就任し、事務局員を兼務しながら本格的に組織運営に関わるようになりました。関係者の皆さんに多くのことを教えてもらったことで、なんとか今日の私があります。

今後の運営にあたっては、微力ではありますがちば MD エコネットの発展に尽力していく所存です。そのために、私一人の力は微々たるものですので、引き続き会員の皆さまのご協力とご支援をお願い申し上げます。

堀江 清



終始、なごやかな雰囲気での総会&交流会でした



# インスタ、始めました★

私たちの活動について、これまでもホームページやFacebookで情報発信をしていましたが、アピールしなくてはならないことが多すぎて、Instagram(以下「インスタ」)を始めました。

インスタでは、カフェの新メニューやスイーツ、バザー商品、各教室やボックス商品の案内、野菜の入荷情報や季節のイベントなど、日々変化の多いカフェの様子を伝えています。

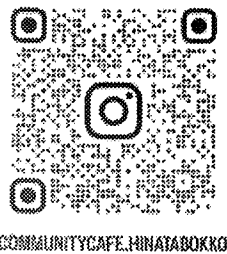
インスタを見てくださる方は、カフェの関係者やお客さまだけではなく、県外の方からも「いいね!」をもらっています。静岡県内の社会福祉法人や地域活動支援センター、人吉市の就労継続支援B型事業所、木更津のリンゴ飴専門店、オーガニックで野菜を育てている方、予備校関係者などさまざまです。インスタはカフェのことを知ってもらえる新たな良い方法です。

これからは、もっと多くの人にカフェに興味をもってもらい、多くの方に「いいね!」をもらえるようなインスタをめざします! お得情報も載せています。皆さん、チェックしてみてください!

(本郷典子)

## ■インスタを見るには

以下のQRコードを  
読み込むと…



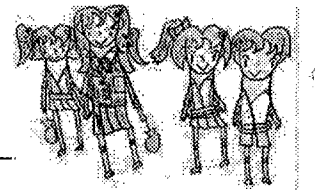
COMMUNITYCAFE.HINATABOKKO



ページにアクセス



# 一人で悩みを抱えないで



## —2023年度ノーマライゼーション学校支援事業—

この事業は、千葉県教育委員会・千葉県と、NPO法人ちばMDエコネットとの協働事業です。発達に凸凹のある子が学校生活や地域生活で困ったことがある時、ちばMDエコネットの学校サポーター(相談員)が相談を受け、一緒に解決に取り組んでいます。昨年度も就学前から就職のことまでさまざまな相談が寄せられました。今年度は体制を見直し、研修・フォーラムは開催せず、個別相談のみおこないます。昨年度、相談を受けたことがきっかけで、船橋市の保育園の課題に取り組みました。以下にご報告します。

\*\*\*\*\*

## 障害や難病をもっている子どもも希望する保育園へ

### —船橋市へ要望書提出、保護者と一緒に一歩前進—

昨年度、「お兄ちゃんと同じ保育園に入れたい」という、発達支援を必要としているAさんの保護者から相談を受けました。その保育園は発達支援児を受け入れていない園でした。ご両親の強い希望で保育園と話し合いを重ねた結果、Aさんは無事、希望の保育園に入園することができました。今はお兄ちゃんと一緒に楽しい保育園生活を送っています。

船橋市では、障害や難病により発達に特別な支援を必要とするAさんのような子ども(発達支援児)を、市内128保育園中44保育園(公立保育園27園すべてと、私立認可保育園17園)でしか受け入れていません。障害者差別解消法、少子化、女性活躍がうたわれる現在、私たちは驚きそして知らなかったことを恥じました。ちなみに私たちの調べでは、県内の市町村であらかじめ入園を制限している所は他にありませんでした。

そこで私たちは、残る84園では発達支援児は受け入れないと公表している、市発行「入園のしおり」にある保育園一覧表の「発達障害」欄の削除を求め、誰もが希望する保育園で保育を受けられるよう船橋市長宛てに要望書を出しました。

「改善すべきだが個別私立認可保育園の問題なので難しい」と言っていた市担当課も、話し合いの場で、制度に切り捨てられて悔しく辛い思いをしてきた多くの保護者たちの声を聞くなかで、一覧表「発達障害」欄をなくし、障害者差別解消法の観点からすべての保育園で発達支援児の受け入れをしていきたいとの考えを示すに至りました。市議会議員の応援もありました。ひとりの保護者の声が、後に続く人たちの道を広げたのです。

まだまだ、「医療ケア児は3歳を過ぎないと保育園に入園できない」「発達支援児は保育時間が制限される」など課題は山積みです。今回のこうした流れや繋がりを大切に、誰もが一緒に育ち、そして働き、暮らせる地域に向けて、みんなで取り組んでいきたいです。

エコネットでは、現在5人の学校サポーターで相談を受けています。一緒に考え、課題に取り組む仲間を募集中です。興味のある方は、ぜひご連絡ください。(嶋村裕子)

## 新しい「気づき」が生まれるように

ひなたぼっこには、大学や専門学校で福祉を学び、社会福祉士をめざす学生から、実習前にボランティア体験をしたいという問い合わせが増えてきました。これから福祉現場で働こうという若い人たちに、ぜひ私たちの活動を知ってもらいと思い、希望する学生さんを積極的に受け入れています。そして、スタッフにとっても、大きな刺激になっています。「先輩としてしっかりしなくちゃ」と、いつもより張り切るスタッフ多数(笑)。今回は、2023年3月の春休みにボランティア体験をした眞下和実さんのレポートをご紹介します。

### 新鮮で楽しい支援の現場

大正大学社会福祉学科2年  
眞下和実



スタッフ研修に参加する眞下さん(手前左)

3日間ボランティア活動を通して、障害のある方を支援する現場を学ぶと共に、障害のある方と一緒に活動することの楽しさを知りました。最初の頃は、大人で障害のある方と関わることは初めてだったので、とても緊張してしまい、「障害をもつ方だから…」と話しかけることをためらってしまっていたこともありましたが、しかし、短い期間の中でも、スタッフの方が仕事について丁寧に教えてくださったことに加えて、スタッフの方と仕事に関する話

だけではなく、仕事以外の話ができることがとても嬉しかったです。

『ひなたぼっこ』さんは、障害のある方一人ひとりが役割を持つことに加えて、障害のない方と共に働く場を作ることで、障害のある方だけではなく、障害のない方にとっても、地域で活躍できる場所なのだと思います。また、ボランティアさんや、バザー品を寄贈して下さる方々等、さまざまな地域のつながりがあることから、『ひなたぼっこ』さんが地域の中でとても身近な存在であることを実感しました。

今回のボランティア活動は、障害のある方を支援する現場を学びたいという思いから、志望させていただいたのですが、このような学びを得るだけではなく、コミュニティカフェでの活動自体がとても新鮮で楽しい体験となりました。

また、障害のある方と障害のない方が共に働いていくために、注文からお会計までの流れをマニュアル化することや、店長が一人ひとりに仕事の指示を明確におこなうこと等、障害のある方とない方が共に働ける環境を整えるためのさまざまな工夫や配慮が行われていることがとても印象的でした。今回のボランティア活動の経験を、今後の社会福祉士の勉強にも活かしていきたいと思えます。

## NPO 法人ちば MD エコネット 25 周年記念

### ドキュメンタリー映画「ひなたぼっこ」上映会

企画/NPO 法人ちば MD エコネット 制作/記録社 監督/桐野直子 2000年製作  
映画「ひなたぼっこ」は、文部科学省選定、千葉県推奨優良映画に指定されています



日時:2023年9月21日(木)

13:30 開場、14:00 上映

16:30 終了(予定)

会場:船橋市勤労市民センター  
地下2階 ホール

定員:300人

参加費:無料(予約不要)

【主催】NPO 法人ちば MD エコネット  
【後援】船橋市、船橋市教育委員会

NPO 法人ちば MD エコネットは、障害のある子どもたちの高校卒業後の社会参加を模索するなかで始まりました。1999年にNPO 法人となってすぐに企画したのが、ドキュメンタリー映画「ひなたぼっこ」でした。この映画は、知的障害をもつ若者たちの普通の高校生活と、グラウンドワークという市民参加の地域環境改善活動を、両輪として描いています。

映画をつくって全国で上映しました。各地で「障害があっても普通の高校に行けるんですね!」と、驚きと希望の声を聞きました。コミュニティカフェひなたぼっこは、この映画の題名をとって名づけました。

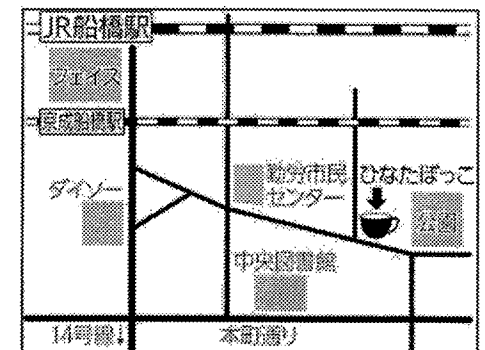
エコネット設立から25年、私たちの活動の原点とも言える映画「ひなたぼっこ」をご覧いただけたら幸いです。映画の主役たちも今は30代後半や40代です。「地域で共に学び、働き、暮らすこと」を求めて、次の一步を踏み出していきます。

### NPO 法人ちば MD エコネット

(コミュニティカフェひなたぼっこ)



営業時間 10時~17時  
日・月・第1土曜 定休  
〒273-0005  
船橋市本町 4-31-23  
TEL:047-426-8825  
URL: <http://mdeconet.jp/>



## 会報カンパ、皆さまに感謝!

前回の会報240号でカンパのお願いをさせていただきました。たくさんの方からカンパと応援メッセージが寄せられました。「イベントが開催されるようになって良かったですネ。皆さんの笑顔、想像しちゃいます」「また、ひなたぼっこにお邪魔したいと思います」など。皆さまからの応援が励みになります。これからも、どうぞよろしくお願いします。

### 告知板

最新の情報はこちらのホームページで確認してください

- 馬込町団地広場清掃 毎月2回、第2・第4土曜日 ※8・9月は9:00~10:30  
8月12、26日(土)/9月9、23日(土)/10月14、28日(土) 10月以降10:00~11:30
- おしゃべり会 毎月第3金曜日 10:30~12:00  
お子さんの学校生活で困っていることなど、いっしょに話してみませんか?  
8月は休み/9月15日(金)/10月20日(金) 1オーダーお願いします
- チャリティアロマ教室 毎月第4火曜日 14:00~15:30 (その後、ティータイム)  
8月22日(火)/9月26日(火)/10月24日(火)  
参加費:1500円位+1オーダー
- オレンジカフェ 毎月第1木曜日 ※コロナの感染防止のため少人数で開催。中止の場合あり。  
8月は休み/9月7日(木)/10月5日(木) 事前にご連絡ください
- ちばMDエコネット25周年記念 映画「ひなたぼっこ」上映会 ※7ページ参照  
9月21日(木) 13:30開場、14:00上映、16:30終了(予定)  
会場:船橋市勤労市民センター 地下2階ホール 定員:300人 参加費:無料

## 毎月11日のイオン・デーは、黄色いレシートの日。

### ご自分のお買い物、エコネットの支援に。

ショッピングモールのイオンでは、毎月11日に黄色いレシートが発行されます。店内でそのレシートを応援したい団体のボックスに投函すると、合計金額の1%額の品物はその団体に寄贈されます。11日にお買い物をしたレシートは、エコネットのボックスへお願いします♪

【編集後記】◆残暑お見舞い申し上げます。連日の暑さと熱中症警戒アラートの発表に体も心もぐったり。◆暑さの中のベリー収穫も始まった。首と頭に保冷剤入りの手ぬぐいを巻く今までの対策だけでは、この暑さに勝てない!そこで、ランニング用の小さなリュックに保冷剤を入れて背中に背負うことを思いついた。結構良い感じ(^^)◆摘み取り中に近くの知り合いの農家さんが、「休憩だよ」とアイスを買って来てくれる。ほっと一息。家に帰ればビールが待っている。(C・Y)

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町15-9 アステール藤野1階  
編集人 NPO法人ちばMDエコネット 船橋市本町4-31-23 定価150円